



第18期

事業計画書

2022(令和4)年4月1日~2023(令和5)年3月31日

認定特定非営利活動法人あしぶえ

令和4年度から事業企画・運営は、 下記のミッション・ビジョンに基づいて行います

ミッション

1. 「劇場」も「演劇」も、自分の暮らしとは係りが無いと思っている人たちに興味・関心を持ってもらうためには、全年齢に対してゼロではなくマイナスから始めなければならない
2. 人々に、クオリティが高く幅広い創造性をもつ国内外の作品を提供し、演劇の良さ、楽しさ、奥深さを伝えていく。これによって人々の心に熱い感動と活力が生まれて「演劇」への親しみが育ち、幅広い国際感覚から得た刺激は新たな発想による事業や「文化芸術」を生む。
3. 「演劇」に触れる機会が増すごとに国際的で柔軟なく感性・想像力・創造性・発想力＞などが醸成されていく。これらの力は、人々の暮らしと未来の地域社会づくりにつながり、無くてはならない文化拠点として、更に成長することができる。

ビジョン

将来像1	人々にとって、「劇場」と「演劇」が身近なものになり、劇場を訪れる人や観劇する人が増えている。
方針	「劇場」と「演劇」に興味・関心を持ってもらうために、ゼロからではなくマイナスから始める。
戦略	①劇場の森の整備に力を注ぎ、四季折々に楽しめる環境で人々が触れ合う事業を行い、「ここはいいところだ」と思ってもらえる場づくりに務める。
	②訪問者には、興味を引く分かりやすい説明や手法で、「劇場」と「演劇」の魅力を伝えていく。
	③小学生対象に「劇遊び」事業を行い、「劇づくり」事業に移行し、そして、子どもたちによる「劇場運営」に進化していく事業を行う。
	④劇場、学校、大学、地域で、「小作品」「ワークショップ」「劇指導」等の事業を行う。
	⑤幼稚園児を対象に人形劇公演を行い、高校演劇部等には活動支援の事業を行う。
	⑥ボランティア育成事業では、「劇場」「演劇」「国際理解」の内容も取り入れる。
将来像2	人々は、「演劇」の良さ・楽しさ・奥深さを体験し、熱い感動によって明日への活力を生み出している。また、幅広い国際的感性に触れたことにより、新たな発想事業や文化芸術を創造している。
方針	クオリティが高く幅広い創造性を持つ国内外の作品を提供していく。
戦略	⑦専属劇団によるクオリティの高い作品を制作し、劇場内外、国内外で上演する。
	⑧世界で制作されたクオリティが高く幅広い創造性をもつ作品を上演する。
	⑨国際的な演劇祭である「松江・森の演劇祭」を企画・運営する。
将来像3	人々にとって、国際的で柔軟なく感性・想像力・創造性・発想力＞等が醸成されて、これらの力が日々の暮らしと地域社会づくりに繋がっている。そして、「劇場」と「演劇」の価値と役割が認識され、「大切な文化拠点」として伝えられている。
方針	人々が「演劇」に触れる機会を増やしていく。
戦略	⑩大人と子どもの入場料に工夫を凝らして、観劇しやすい環境をつくる。
	⑪教育委員会との連携を図り、学校団体観劇の習慣化を図る。
	⑫障害者等の観劇体験を増やすための各種団体等への積極的な働きかけを行う。
	⑬3年に1度の「松江・森の演劇祭」を2年に1度開催に進化させていく。

項 目	「第17回通常社員総会」開催
日時・場所	【日時】2022（令和4）年5月15日（日）10:00～11:30 【会場】しいの実シアター
内 容	2021（令和3）年度の事業報告、決算報告、会費報告の報告 2022（令和4）年度の事業計画、収支予算報告、役員変更、定款変更について

項 目	「理事会」の開催
日時・場所	年に6回程度開催し、NPOの運営について協議を行う。 しいの実シアター
内 容	2021（令和3）年度の事業報告、決算報告、会費報告についての承認 2022（令和4）年度の事業計画、収支予算、 半期決算状況 役員改選 その他

項 目	交流の集い	中止
内 容	総会後に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。	
概 要	【日時】2022（令和4）年5月15日（日） 【会場】しいの実シアター	

他団体の事務局運営

- ①八雲町地域振興活動団体交流会（略称：やくもネット）の事務局とポータルサイト運営
- ②島根演劇ネットの事務局運営

<令和4年度事業計画> 法人事業 ① 劇団公演事業

令和4年度からミッション・方針・戦略に基づいて、各種事業を実施します。

事業名	地域連携演劇公演 「ゼロ弾きのゴーシュ」隠岐の島公演
目標数	入場者数 600人
ミッション	3. 「演劇」に触れる機会が増すごとに<感性・想像力・創造性・発想力>などが醸成されていく。 これらの力は、人々の暮らしと未来の地域社会づくりにつながる。
戦略	⑦ 専属劇団によるクオリティの高い作品を制作し、劇場内外で上演する。
趣旨・目的	隠岐島文化会館から依頼されて行う。 コロナ禍の中、何度も企画され断念されたが、ぜひとも子どもたちから高齢者まで観劇させたいとの要望があった。 しいの実シアターの認知度アップに務め、国際演劇祭の広報も行なう。
事業の概要	<p>【演 目】 セロ弾きのゴーシュ（上演時間 60分）</p> <p>【原 作】 宮沢賢治</p> <p>【演 出】 園山土筆</p> <p>【実施会場】 隠岐島文化会館（500席）</p> <p>【実施日程】 11月27日（日） 5歳以上から高齢者 1回 11月28日（月） 中学生対象 1回</p>

<令和4年度事業計画>

法人事業 ②表現・コミュニケーション能力育成事業

コロナ禍の中でも、少しずつ対面のワークショップが求められるようになってきました。

実施するコミュニケーションゲームの内容は、コロナ状況も考慮して実施します。

以下は、4月現在で依頼のあったものを記載しています。

コミュニケーションワークショップ		実施月日	実施場所	受講者数	回数
八雲町	松江市立八雲小学校 (次世代育成事業)	R4/6~R4/12	八雲小学校	460名	19回
	松江市立八雲中学校 2年生 (芸術家派遣事業)	R4/未定	八雲中学校	65名	1回
	どんぐり館ファミリーサークル	R4/5/14	どんぐり館	16名	1回
	八雲中・東出雲中地域リーダー合同研修会コミュニケーション・ワーク	R5/1/未定	八雲町公民館	50名	1回
松江市	島根県立大学4年制学部 教育保育学科 1年生	R4/4/7	県立大学松江 体育館アリーナ	40名	1回
	島根県立大学短期大学部 保育学科 1年生	R4/4/20	県立大学松江 体育館アリーナ	40名	1回
	松江市立義務教育学校八東学園 (次世代育成事業)	R4/未定	松江市立義務教育 学校八東学園	130名	2回
	私立幼稚園連合会中国大会	R4/8/19	しいの実シアター	20名	1回
	島根県看護協会助産師研修	R4/10/未定	島根県看護協会 研修所	20名	1回
東部	飯南町立頓原中学校 (芸術家派遣事業)	R4/9/未定	飯南町頓原中学校	40名	1回
	保育士スキルアップ研修(東部)	R4/8/29	出雲市朱雀会館	40名	1回
西部	保育士スキルアップ研修(西部)	R4/8/3	浜田合同庁舎	20名	1回

＜令和4年度事業計画＞ 法人事業 ③ 誘客事業

劇場の指定管理業務を受けるには、「指定管理事業」のほか、法人自費による事業を「自主事業」と名付けて実施することが義務づけられています。けれども、この「自主事業」は、当法人にとっては、しいの実シアターへ誘客するための事業であるため、「法人事業③誘客事業」と位置付けて本欄に記載します。

事業名	森の劇場でお花見を！
目標数	300人 ➡ のべ約800人
ミッション	1. 「劇場」も「演劇」も、自分の暮らしとは係りが無いと思っている人たちに、興味・関心を持ってもらうためには、マイナスから始めなければならない。
戦 略	① 劇場の森の整備に力を注ぎ、四季折々に楽しめる環境で人々が触れ合う事業を行い、「ここはいいところだ」と思ってもらえる場づくりに務める。
趣旨・目的	シアター敷地に植えた桜が約20年経過して見事な花を咲かせるようになった。桜の開花に合わせて、お茶サービスやミニマルシェを開催して誘客し、演劇に対して興味・関心の薄い市民にも来場機会をつくり、シアターへの親しみを増やす。
事業の概要	【実施日程】 令和4年3月30日から4月1日 お茶サービス 4月2日（土）～3日（日）ミニマルシェ、焚火

事業名	落ち葉集め エコ活動
目標数	40人
ミッション	1. 「劇場」も「演劇」も、自分の暮らしとは係りが無いと思っている人たちに、興味・関心を持ってもらうためには、マイナスから始めなければならない。
戦 略	① 劇場の森の整備に力を注ぎ、四季折々に楽しめる環境で人が触れ合う事業を行い、「ここはいいところだ」と思ってもらえる場づくりに務める。
趣旨・目的	敷地内の落ち葉は、コンテナ車およそ2台分になるため、ボランティアを募り、以下の効果を目指す。 ② 落ち葉は、造園会社に回収してもらい、翌年のシアター樹木の施肥に活用する。 ②参加者は、劇団員やスタッフと交流し、シアターへの愛着度が高まる。近年は、子どもたちの労働機会が激減しているため、保護者からは大変喜ばれている。 ③整備された劇場環境をつくることで、一般来館者の好感度が高まっていく。
事業の概要	【実施日程】 令和4年11月又は12月 1回 【実施会場】 しいの実シアター敷地内（2600坪） 【参加者】 シアター職員、専属劇団あしづえ団員、市民ボランティア 未来学校等の各種事業参加者

<令和4年度事業計画> **法人事業** **④ 物販事業**

しいの実シアター

貸館時に連携して、グッズや地域産品等の販売を行なう。

公式LINEアカウントにより入荷情報を発信して、物品促進を目指す。



かやぶき交流館

交流館に来場される方を対象にあしぶえせんべいのほか、地元の産品の物販を行なう。



＜令和4年度事業計画＞ しいの実シアター指定管理事業

＜今年度の目標＞

「松江・森の演劇祭」の成功を目指す

今までの演劇祭は、「アルバエリア」と「しいの実エリア」の2つのエリアを結んで開催していたが、都会地からの観客の強い要望により自然豊かな「しいの実エリア」のみで開催することになった。実施エリアが一つになることによって座席数も減るため、初めて2週連続の開催で観客数を確保する。これに伴って、平日公演も可能になり、市内小学生の団体観劇も実現することになった。もともと、演劇上演の好環境は300人以下といわれているため、観客にとっては非常に望ましい環境での観劇となり、自然の中での催事の楽しさも提供できるため、新しい時代に即した国際演劇祭となるだろう。

公演事業1

事業名	演劇祭公演「ゼロ弾きのゴーシュ」
目標数	200人
ミッション	2. 人々に、クオリティが高く幅広い創造性をもつ国内外の作品を提供し、演劇の良さ、楽しさ、奥深さを伝えていく。これによって人々の心に熱い感動と活力が生まれて「演劇」への親しみが育つ。
事業の内容	⑦ 専属劇団によるクオリティの高い作品を制作し、劇場内外で上演する。 ⑩ 大人と子どもの入場料に工夫を凝らして、観劇しやすい環境をつくる。
趣旨・目的	「ゼロ弾きのゴーシュ」は、令和元年度、在ブルガリア日本大使館から招待を受け、首都ソフィアと大都市ブルガスにおいて日本語・ブルガリア語で上演し、大使館関係者、演劇人、音楽家、学生、親子連れ等が詰めかけ、スタンディングオベーションで盛り上がる成果を得た。令和4年度は、日本語と英語で上演する。
事業の概要	【原作】宮沢賢治 【演出】園山土筆 【実施日程】令和4年11月13日（日） 【実施回数】2回 【対象】5歳以上

公演事業2

事業名	演劇祭公演 フランス 「GO!」
目標数	200人
ミッション	2. 人々に、クオリティが高く幅広い創造性をもつ国内外の作品を提供し、演劇の良さ、楽しさ、奥深さを伝えていく。これによって人々の心に熱い感動と活力が生まれて「演劇」への親しみが育成され、幅広い国際感覚から得た刺激は新たな発想による事業や「文化芸術」を生む。

事業の内容	⑧ 世界で制作されたクオリティが高く幅広い創造性をもつ作品を上演する。 ⑫ 障害者等の観劇体験を増やすための各種団体等への積極的な働きかけを行う。
趣旨・目的	過去に2回上演し大好評だった。優れた海外劇団を招へいしても、観劇するまではなかなかその良さが理解されないが、一度観劇して感動すると、家族や周りの友人・知人に広めてもらえる。今回の公演で、また新たな観客を育てたい。
事業の概要	【演 目】「GO!」（上演時間 40 分） ノンバーバル作品 【演 者】ポリーナ・ポリソヴァ（フランス） 【実施日程】令和4年11月5日（日） 【実施回数】2回 【対 象】9歳から高齢者まで

公演事業3

事業名	演劇祭公演「ガベジ」 パントマイム
目標数	300人
ミッション	1. 「劇場」も「演劇」も、自分の暮らしとは係りが無いと思っている人たちに、興味・関心を持ってもらうためには、全年齢に対してゼロではなくマイナスから始めなければならない。
方針	人々が「演劇」に触れる機会を増やしていく。
趣旨・目的	パントマイムを多くの人に伝えるため、喜劇性をもたせて観客の関心を高め、演技の確かさは見事。東京オリンピックの開会式で「ピクトサイン」を発表し実力を知らしめた。想像力を駆使して観劇する楽しさを届けたい。
事業の概要	【演 目】 「メガ盛りコメディ SHOW」（上演時間 40 分） 【上演団体】 ガベジ（日本） 【実施回数】 3回 【実施日程】 令和4年11月6日（日） 【対 象】 3歳以上高齢者まで

人材養成事業1

事業名	しいの実シアター未来学校
目標数	のべ90人
ミッション	3. 「演劇」に触れる機会が増すごとに柔軟なく感性・想像力・創造性・発想力などが醸成されていく。
事業の内容	③ 小学生対象に「劇遊び」事業を行い、「劇づくり」事業に移行し、そして、子どもたちによる「劇場運営」に進化していく事業を行う。
趣旨・目的	平成28年度から10年計画を立てて、5年間実施している事業。 令和3年度に実施した時は、子どもたちも保護者も講師も劇場スタッフも全員

	が、「夢のような3日間だった」と感想を語るなど、過去にないほどの充実した成果を得た。これは、子どもたちの自主性を尊重し、「遊び」の要素を持たせた講師とスタッフの力量によるところが大きい。4年度の実施を待ち望んでいる子どもたちのためにも開催して、参加者枠を広げたい。
事業の概要	<p>【実施日程】 令和4年8月 【実施回数】 3回</p> <p>【講師】 田中小百合（NPO法人明るい生活・代表） 園山土筆（認定NPO法人あしぶえ理事長、芸術監督） 有田美由樹（認定NPO法人あしぶえ・俳優）</p> <p>【対象者】 小学生30人</p> <p>【内容】 コミュニケーションワークショップ、 オリジナルの劇づくり（題材は絵本から、参加者が選ぶ）</p>

人材養成事業2

事業名	高校演劇部支援事業
目標数	のべ200人
ミッション	3. 「演劇」に触れる機会が増すごとに＜感性・想像力・創造性・発想力＞などが醸成されていく。これらの力は、人々の暮らしと未来の地域社会づくりにつながる。
事業の内容	⑤ 高校演劇部等には活動支援の事業を行う。
趣旨・目的	高校演劇のレベルアップを図ると同時に、将来の演劇活動者や演劇鑑賞者を増やしていく事業。ところが、コロナ禍により、この事業を2年間実施することができなかった。高校の顧問の先生からは、「高校3年間の内2年も事業がないということは、伝統が無くなるに等しい」と言われている。開館以来継続してきた高校演劇部の交流と支援が途絶えることがないように継続支援していきたい。
事業の概要	<p>【実施日程】 令和5年1月～3月</p> <p>【実施回数】 3回</p> <p>【講師】 園山土筆、有田美由樹、勝部保行</p> <p>【対象者】 松江南高校、松江東高校、松江商業高校、松江工業高校、 情報科学高校、松江農林高校、開星高校の演劇部員と教員</p>

人材養成事業3

事業名	大学との連携 インターンシップの受入れ
目標数	2人
方針	人々が「演劇」に触れる機会を増やしていく。

趣旨・目的	<p>①学生が芸術に関心を持ち、劇場関係者や演劇鑑賞者として育っていくこと。</p> <p>②舞台芸術の実情を知り、どのように社会の役に立っているかを認識すること。</p> <p>③「しいの実シアター」の存在とその価値を知ること。</p> <p>ふるさと島根定住財団が実施する「インターンシップ募集」に応募した学生を受け入れて、劇場内部の業務体験だけでなく、大学生が専属劇団員、ボランティア、地域住民と交流できる機会をつくり、地域の中での劇場の在り方を学ぶことができるようにしている。</p>
事業の概要	<p>【実施日程】 令和2年9月～令和3年3月 【実施回数】 2人×3回</p> <p>【講師】 園山土筆、有田美由樹</p> <p>【内容】 座学（指定管理者制度について、劇場法について） 体験（広報活動、施設整備、専属劇団）</p> <p>【対象者】 文化政策、地域づくり、アートマネジメント 芸術創造等に 興味・関心をもっている大学生2人</p>

施設管理

【今年度の目標】

劇場周りの夜の安全・安心と景観向上を目指して、灯りを補充する

シアター周辺では、以前から夜間の安全と夜道の足元灯りについての課題があった。そのため、令和元年度、実験的に劇場周りの一部に使用電力少量の安価な灯りを設置した。この試みに対して、来場者からは「安全で美しい」との良好な感想が数多く聞かれ、設置場所を広げることにはできないかと検討していた。令和4年度の国際演劇祭は、シアターを中心にした「松江・森の演劇ゾーン」で開催することになったため、クラウドファンディングによる灯り設置キャンペーンを実施して寄付金を集めることとした。

新型コロナ感染は、第5波から第6波に移り、閉塞した日々が続いたため、「コロナに負けない！皆さんと共に！—みんなの心に灯りをともすキャンペーン—」と題して行った。その結果、目標額20万円を大きく上回る50万円を集めることができた。この支援金によって、劇場周りの樹々に灯りを設置して、来場者の足元を照らし、夕夜景の景観向上に努めたい。

事業名	春秋の草刈り事業	参加者数	30人
趣旨・目的	<p>市民ボランティアを募って、シアター職員、あしぶえ劇団員と共に、2600坪の敷地内の草刈りを、春秋1回ずつ実施する。これにより以下の効果を目指す。</p> <p>①指定管理経費の削減に努める。</p> <p>②職員・団員との協働作業で、劇場に対する市民の好感度・愛着度を高める。</p> <p>③市民と共に作業を行なって交流を図り、共に整備された劇場環境をつくることで、市民の好感度の高まりを期待する。</p>		

事業の概要	【実施日程】	令和4年5月8日（日） 10月2日（日）
	【実施会場】	しいの実シアター敷地内（2600坪）
	【参加者】	シアター職員、専属劇団あしづえ団員、市民ボランティア

【課題】

1. 公共の案内標識設置が望まれる

松江市の公共施設として認識され、市民の多くに使用されるためには、国道、県道、市道に案内標識が必要であり、建物を表す看板も急がれる。

2. 和式トイレ等を洋式シャワー付きトイレに

さまざまな障害や高齢化、感染症対策、また、国際演劇祭で外国人も使用することなども考慮して、社会情勢に合わせたトイレへの変更を要望していきたい。

3. 劇場敷地面積の確定について

劇場敷地面積については、松江市に対して平成27年度からお願いしているが、引き続き敷地エリアの確定を求めていく。

<令和4年度事業計画> かやぶき交流館指定管理事業

<貸館>

- ・しいの実シアター及び町内の各種事業と連携して利用増に努める。
- ・貸館利用を推進するため、しいの実シアター事業の広報活動に合わせて、かやぶき交流館の広報も行う。また、SNS広報も実施する。
- ・ロコミ利用者を増やす。

<連携>

項 目	日 程	内 容
こいのぼり掲揚	5/15(日)～6/4(土)	今年度は、実行委員会主催のこいのぼり掲揚時期に合わせて、かやぶき交流館も掲揚する。寄付を兼ねたミニオリジナルの鯉のぼりの販売も行う
しいの実シアター未来学校	8月上旬	事業の一環として昼食会場とする
松江・森の演劇祭	11月上旬	イベント会場として参加 建物内と駐車場

<施設管理>

かやぶき屋根の燻蒸	・週2回 薪を焚き煙で燻蒸する
下水管の点検	・屋外の下水管内に木の根がはびこり、流れを阻害するので、定期的に点検をする
建物まわりの草刈	・裏、表、駐車場の周辺の法面の草刈

<課題>

駐車場の白線引き	駐車場の安全管理及び、しいの実シアターの事業開催時、駐車場スペースが不足し、かやぶき駐車場を利用することが増えていること等により、業者による白ライン引きが急がれる。
かやぶき屋根工事前調査	北側の屋根は苔が生えてきて、積雪のあと苔といっしょに萱も落下している。その分、屋根が細ってきているので、早めの調査を要望している。

<令和4年度事業計画> 松江・森の演劇祭運営事業

今年度から、〈松江・森の演劇ゾーン〉で開催することになりました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止に万全の対策をとって開催します。

ただし、開催日までの感染状況によっては、事業内容の変更または中止が生じる場合があります。その際は、実行委員会企画委員会で協議のうえ決定し広報・周知します。

【目的】

子どもたちから高齢者まで様々な人たちが、世界の多様で創造的な表現に触れて、演劇の楽しさ・深さと感動を味わうことによって、明日への豊かな暮らしに繋がっていくことを目指します。

そして、演劇祭を企画・運営するスタッフとクルーが、Bit by Bit の精神で演劇祭を長く続けることによって、ひとの力・まちの力が増して、松江のまちが〈国際的で柔軟な感性が広がるまち・市民が誇れるまち〉になることを目指します。

【スタッフとクルーの活動の指針】

スタッフとクルーは、「活動の指針」に基づいて演劇祭の開催成功を目指します。

1. リーダーを中心に活動します。
2. 「笑顔」と「声かけ」を大切にします。
3. 対話を重ねて最善の方法を見つけます
4. 「振り返り」と「改善」で深化を目指します。
5. 自身も演劇祭を楽しみます。

【会 期】

2022年11月 5日(土)～14日(月)

日	曜日	午前	午後	夜
3日	木祝	運営本部とクルーによる準備・飾り付け		開催前の楽しい集い
4日	金	仕込み	仕込み	
5日	土	本番	本番	焚き火、仕込み
6日	日	本番	本番	
7日	月	本番(団体観劇)	休息タイム	仕込み
8日	火	本番(団体観劇) (学校観劇)	本番(学校観劇)	
9日	水	本番(学校観劇)	本番(学校観劇)	
10日	木	本番(学校観劇)	本番(学校観劇)	
11日	金	仕込み	仕込み	
12日	土	本番	本番	仕込み
13日	日	本番	本番	焚き火、仕込み、本番
14日	月	シンポ準備	国際シンポジウム	

【会場】

開催前の楽しい集い	しいの実シアター
上演	しいの実シアター、平原会館、平原農村公園大型テント
国際シンポジウム	しいの実シアター（政策研究大学院大学主催）
マルシェ	かやぶき交流館駐車場、しいのみシアター駐車場、平原農村公園
カフェ・物販	しいの実シアター駐車場 平原農村公園
クラフトショップ	かやぶき交流館
くつろぎスペース	平原農村公園中型テント
焚き火交流	しいの実シアター中駐車場ケヤキ広場
招待者用カフェ・軽食	やませみハウス（シアター隣）
宿泊	ゆうあい熊野館、アグリパーク宿泊棟（スタッフのみ）
駐車場	八雲中央公園（350台）アルバホール（70台）

【上演作品】 5カ国 11劇団 12作品

会場	国名・劇団名	作品名	上演	観劇対象年齢・言語
しいの実	フランス	GO!	40分	9歳から 無言語
	ブルガリア	父さんのすることはすべてよし	60分	小学生から 日本語
	日本・GABEZ	メガ盛りコメディ SHOW	40分	3歳から 3歳未満不可
	日本・あしぶえ	ゼロ弾きのゴーシュ	60分	5歳から 日本語
大型 テント	カナダ	ひつじ	30分	乳幼児から 無言語
	カナダ	飛行隊	40分	小学生から 多国籍言語
	日本・チイキ	バラエティー CARTOON!	45分	幼児から 無言語
	日本・びりブッチィ	びりとブッチィー	60分	
平原会館	日本・人形劇団ブーク	ふしぎな箱、オカビぼうや	60分	3歳から 日本語
	日本・むすび座	どんどこももんちゃん	50分	幼児から 日本語
	日本・ドロップ	100万回生きたねこ	40分	幼児から 日本語

【プラン】

整備された「松江・森の演劇ゾーン」（しいの実エリア）だけで開催する

- 自然の中で開催するため演劇祭全体が見渡せる。都会地からの観客の満足度があがる。
- 観客は移動が減り、演劇祭全体を感じて楽しむことができる。
- 会場内を歩いて回り、観劇・昼食・カフェ・マルシェを楽しむことができる。

演劇ゾーン開催によるキャパ数減に対応するため、2週連続開催とする

- 2週開催なら、「賑わい創出」の長期間化となる。
- 1週目と2週目の間の平日を利用して小・中学校の児童・生徒の団体観劇を実施する。
 - ①クラス全員で一緒に観るといふ共有感があり、同じ話題で盛り上がる。
 - ②子どもたちのほとんどは、大人になるまで演劇をみたことがないという現実がある。貧困家庭やヤングケアラーの子どもも文化芸術に出合うチャンスが平等に得られる。団体観劇については、教育委員会にも検討してもらっている。
 - ③団体観劇作品であるブルガリアのクレドシアターが演じるアンデルセン童話は、60分間日本語上演されるため、子どもたちの体験として貴重である。

政策研究大学院大学主催でシンポジウムを開催する

○垣内恵美子教授からの依頼で、しいの実シアターにおいて「劇場の未来」をテーマに、フランス、韓国、ドイツまたはイギリスの大学・文化人および、国内の数名の演劇関係者によるシンポジウム開催をすることになった。

垣内教授が、しいの実シアターを会場にしたい、と言われた理由は次の2点。

① しいの実のようなコンパクトな国際演劇祭は国内外でユニークなもの。国内外の演劇祭、芸術祭を数多く観てきたが、地域に密着し、ボランティアに支えられ、しかも国際的な広がりのあるクオリティの高い演劇祭は、ほかにあまりないと思う。

ぜひ海外研究者にも知ってもらいたいとかねてから思っていた。

② 今まで国際会議は何度も実施してきたが、せっかく海外から発信力のある主要な研究者が来るのに、東京だけで終わるのはもったいないのでいくつかの地方劇場視察も組み込んでいる。今回はテーマが劇場なので劇場がフル活動しているところを見せたい。

○しいの実シアターとしても、会期中に演劇祭の実際をみてもらい、それに対する感想・評価をもらうことは、今後の継続に大いに役立つこととなる。

○各研究者による国際的な発表・論文等も今後のシアターの方向性を見据えるのに重要であり、広報的な価値もある。

クオリティの高い作品を〈こころの食べもの〉として提供する

○クオリティが高くても、ノンバーバル（非言語）などの、乳幼児から高齢者までが楽しめる作品を上演する。上演前後に、解説トークをいれて、観客の観劇満足度を高める。

県外からの来場者を増やし、観光とつながることを目指す。

○前回、県外からの来訪者は22%だった。今回は30パーセントを目指す。

○演劇祭やシアターが他地域から認められて（特に東京）はじめて、地元・松江市民から演劇祭やシアターが認知される。そのためには県外来場者増は必須。

○政策研究大学院大学による全国で有数の劇場知名度調査では、しいの実シアターの知名度は高いという報告がなされている。

新たに「焚き火交流」を行い、誰でも自由に交流参加できるようにする。

○今回から期間中の午後から「焚き火交流」を行う。

これは、2021年11月にシアター広場で初めて行った「焚き火」が好評であったため、観客、招待劇団員、クルー、スタッフなど、誰でも参加できるものとして開催する。

○場所は、しいの実シアターの中駐車場のケヤキ近くの広場。テントでは、温かい飲み物や軽食を販売する。

八雲中などの協力を得て、中学生ボランティアを多数受け入れて育成する。

○前回の演劇祭では、80人の八雲中学生が参加し、大きな力となった。

○中学時代から演劇祭に興味・関心を持ってもらえることは重要なこと。

○八雲中校長の理解により、今回も全生徒を対象に説明会を開催して参加を募る。

○中学生が、大人に混じって、一人前に頼りにされる喜びを味わうことができる。

上演201回目の「ゼロ弾きのゴーシュ」を日英上演する。

○初演以来30年のよい舞台になるよう創りあげたい。

○シンポジウム参加の国内外パネラーにも観劇してもらい、進化の糧にする。